

アユ種苗5万尾（七色系）を標識放流しました！

2025. 5. 12 栃木県水産試験場

【遡上性や釣れ具合を調べるために七色系種苗を試験放流しました】

解禁日から良く釣れ、冷水病にも強い七色系種苗ですが、遡上性やシーズンを通した釣れ具合について調査したことはありませんでした。そこで、栃木県漁連、鬼怒川漁協、水産試験場で試験放流を実施しました。

4/20 鬼怒川（宇都宮市石井） 5万尾（平均8.3g）

【多数のボランティアに御協力頂き、見分けがつくように標識（脂ビレ切除）しました】

全てのアユの脂ビレを切除して放流しました。これによって、今後大きく育ったアユを釣ったときに脂ビレがあるかどうかを確認することで、七色系種苗を見分けることができます。

アユの脂ビレを1尾1尾切除するには、とても手間がかかる作業です。漁協だけでなく、多数の釣り人にもボランティアで御協力頂きました。この場を借りて、感謝申し上げます。



【いつ、どこで、標識魚が釣れたかを調査していきます】

今後は、いつ、どこで標識魚が釣れたかを、解禁日、釣り大会などで、釣果に占める標識魚の割合や大きさを調査していきます。

【調査結果は、次年度の栃木県漁連の生産計画や各漁協の放流計画に反映されます】

組合員の減少によって、漁協だけの活動が難しくなっていますが、釣り人等との協力によって、データに基づく効果的な漁場管理が実現され、賑わいのある川づくり、地域の活性化につながっていくことが期待されます。